

平成 31 年 4 月 4 日

報道機関 各位

## 自然資本を対象にした地方都市のグリーンボンド／サステナビリティボンド 発行に向けたポテンシャル研究を富山大学が実施

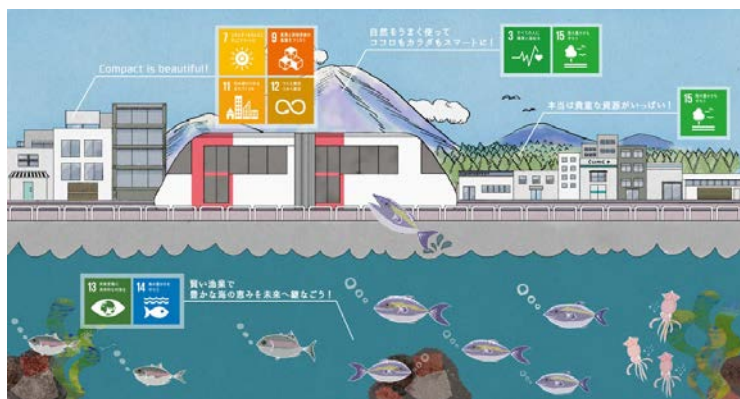
富山大学の極東地域研究センターと経済学部（所在地、富山市）は共同で、富山市が SDGs 未来都市であることを踏まえて、自然が豊かな中堅地方都市の特徴を活かしたグリーンボンドやサステナビリティボンドの発行に向けたポテンシャル研究を実施し、第一弾の報告書を 2019 年 3 月 30 日にまとめました。この研究プロジェクトは、富山市が内閣府の SDGs 未来都市の 10 の自治体 SDGs モデル事業に選出されたことを契機に、富山市の委託を受けて富山大学が実施した 3 つの研究プロジェクトの一つにあたります。

近年、環境・社会・ガバナンス「ESG」投資の高まりを受け、ESG に配慮した企業経営や都市の運営に対する投資が増大しています。環境に配慮した事業に資金を充てる債券「グリーンボンド」の発行も急増しています。しかし、国内の発行の多くは企業からの発行であり、地方自治体の発行例は東京都のグリーンボンドに限られていました。また、グリーンボンドの多くは確実なキャッシュインが見込める再生可能エネルギーの設備導入や省エネルギーの推進プロジェクトを資金使途にしていました。

本研究プロジェクトは、森里川海の自然が豊かな地方都市らしいグリーンボンドの在り方を検討するために実施したもので、資金を富山湾における持続可能な漁業の実現や海の保全、自然を保全したトレイルの整備、富山市が推進するコンパクトシティ政策に貢献するマンション建設などに充てる可能性を検討しています。豊かな自然を持続可能に利用し、都市の価値向上に寄与することを目指し、グリーンボンド発行を見据えた研究を進めています。自然の保全、トレイル整備、路面電車の整備は健康を増進する効果もあることから、社会面も加えたサステナビリティボンドの検討も始めています。

想定する事業として以下の4点を提案しています。

- (1) 富山湾における持続可能な漁業の実現、漁業認証の取得、富山市の林業における森林認証の取得。
- (2) コンパクトシティに貢献するマンション建設、住宅ローンの資金。
- (3) 自然を保全し、健康を増進する呉羽山トレイルの整備。
- (4) ターゲットを絞った奨学金を整備したUJI ターン事業。



極東地域研究センターと経済学部は協力して、引き続き本件の研究を進めていきます。つきましては取材、報道方よろしく願い致します。

【本件に関する問い合わせ先】  
富山大学研究推進機構 極東地域研究センター  
TEL 076-445-6510